

×齋藤法幸

事業拡大を図るべく新たな拠点へ

フクダ物産株式会社 代表取締役社長

福田大輔

この度、新地町に相馬営業所を移転新築されたフクダ物産株式会社福田大輔社長に、今回のプロジェクトについてお話を聴かせていただきました。

齋藤 今回拠点を移し、新たに倉庫と事務所を建てるとなつた経緯についてお聞かせください

福田 従前は、相馬市中心部に拠点を構えておりましたが、この地は営業拠点並びに物流という弊社の事業内容に照らすと敷地が狭く、道路を挟んで倉庫と事務所が離れており相互の行き来の際に信号を待たなくてはならない等、業務効率に支障をきたしておりました。そのため、建物自体を賃借していた為、その用途は100%弊社の事業目的に沿った建物ではありませんでした。このような事情を踏まえ今後の事業展開を検討していくと自社の業務効率を格段に改善できる敷地計画と建築計画を新たに打立てることが相双地区のために経済活動をする上で必要不可欠と判断致しました。

齋藤 この度、新たな事業拠点として「新地町」を選ばれた理由をお聞かせください

福田 前述のような事業目的を達成できることで、広大な土地は、そう簡単に見つかるものではありません。幸いにも弊社は取引先として多くの農家の皆様と長きに渡りお付き合いしております。その中の御一方から所有する遊休地をぜ

鐵骨の組立が容易で建築コストを低く抑え、確実に施工スピードを上げられる工法とのことで、限られた予算と工期という課題を見事にクリアすることができました。

齋藤 最後に、実際に営業を開始されたいとの感想をお聞かせください

福田 通りて互いの信頼関係と、事業内容の相互理解があつた上で、御提案頂いた内容自体も十分納得のいくものでしたので、今回のパートナーとして手を組ませて頂きました。サイト工業さんは地元に根づく総合建設業として、仙台および福島を中心に事業展開され、昨年は創業50周年を迎えた歴史ある会社とのことで、安心して仕事を依頼することができました。また、同社福島支店の対応によって着工前の農地転用許可申請手続きや竣工後のアフター フォローも万全で、施工以外の部分においてもきめ細やかな対応をしていました。

齋藤 建築に当たりサイト工業に要望したこと、又はサイト工業から提案された内容をお聞かせください

福田 サイト工業さんには、本建物は大型トラックが常時出入する「物流の拠点」として使用すること、事務所と倉庫を一体として利用できること、そして明るく開放的な空間の中で従業員一人一人が効率よく快適に業務をこなせること等々です。これに対し、サイト工業さんからは大型トラックや搬入物の荷重に耐えられるよう、ヒアリングを通して耐荷重計算を綿密に行うと共に、西側の山間部からの吹き風（おろし）に留意し、敷地の西側にテント倉庫を配置し、それを風除けにする形で事務所兼倉庫を配置してはどうかというご提案を受けました。また、事務所兼倉庫はコストと工期に留意し、「システム建築」をご提案頂きました。これは部材一つ一つの寸法・形状が予め規格統一されているため、



福田 当初計画どおりの理想とする場所で快適な設備を備え、営業開始後に生じた不具合等にも迅速に対応いただいたことで、弊社職員は以前にも増してより活き活きと仕事に取り組んでおります。会社としては、社員に明るく前向きな気持ちを持って働いていただきことが一番うれしいことですので、それを実現してくれた地主であられる取引先農家の方やサイト工業さんに感謝しています。

■フクダ物産株式会社
X
SIGHT サイト工業株式会社



齋藤 福田社長、有難うございました。 謝っております。今回の計画を振り返って思ったことは、「建てるることは出会いであり、その後のメンテナンス等を通じて初めてお付き合いがスタートする」ものだと私は感じました。 同時に前述の団体における各種活動を

福田 計画の実行には、長期的にお付き合いできる信頼のおけるパートナーが必要だと考えておりました。多岐に渡る考え方を聞きたい思いもあり、当初は大手企業にもお声掛けをさせて頂き様々な御提案も頂戴しました。そのような中で、弊社が加入している経済団体のうち、金融機関が母体の商工中金ユース会や青年経済団体である仙台商工会議所青年部（YEG）において一緒にいたのがサイト工業㈱の齋藤社長でした。日頃よりサイト工業さんの仕事ぶりや取組姿勢や思いについてお聞きしていたこともありましたし、お聞かせください



—今回の計画概要—
工事名：フクダ物産㈱相馬営業所新築工事
所在地：福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字塔場15番地の2

工事概要
①事務所兼倉庫〔鉄骨造システム建築〕平屋建・床面積434.68m²
②テント倉庫〔膜式構造・床面積338.30m²〕

③舗装及び付帯する外構工事

工事期間：平成29年9月14日～平成30年1月20日（約4ヶ月間）

「こだわり・安心を提供し、地域作りに貢献する」をモットーに新しい環境で心機一転取り組んでおられるとのこと。